

第1回伊那新校再編実施計画懇話会

日時：令和2年11月26日（木）

18時～19時30分

会場：伊那合同庁舎 5階 講堂

次第

1 開 会

2 挨拶

3 自己紹介

4 伊那新校再編実施計画懇話会について

（1）「懇話会」開催の趣旨について

（2）今後のスケジュール及び専門会議について

5 座長選出

6 会議事項

（1）「高校改革～夢に挑戦する学び～」

①「実施方針」について

②「再編・整備計画【一次】」及び伊那新校の学校像について

（2）質疑応答及び意見交換

7 その他

次回の予定

【日時】 令和3年1月19日（火） 18時～19時30分

【会場】 伊那北高等学校 同窓会館

【内容】 アドバイザーによる講演会及び意見交換

【アドバイザー】 上智大学 奈須正裕 教授

8 閉 会

伊那新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

	区分	氏名	所属等
1	自治体	林 俊宏	伊那市 副市長
2		澤井 淳	飯島町教育委員会 教育長
3		本多 俊夫	駒ヶ根市教育委員会 教育長
4		田中 章	上伊那広域連合事務局 事務局長
5	産業界	田畑 和輝	伊那商工会議所 監事
6		春日 俊也	駒ヶ根商工会議所 副会頭
7		黒河内 貴	株式会社仙醸 代表取締役社長
8	学識 経験者	福田 正樹	信州大学農学部 副学部長
9		高橋 百合子	長野県看護大学 小児看護学講師
10	地域	河野 宏	一般社団法人上伊那医師会 長野県学校医委員会委員
11		中山 佳代	元上伊那地域の高校の将来像を考える協議会 委員
12		佐藤 公俊	上伊那地域振興局 局長
13	同窓会	山田 益	伊那北高等学校同窓会 運営委員会委員長
14		下島 典子	伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 会長
15	P T A	林 裕二	伊那北高等学校 P T A 副会長
16		伊東 史彦	伊那弥生ヶ丘高等学校 P T A 会長
17		寺澤 美智代	上伊那 P T A 連合会 副会長
18	学校 関係者	埋橋 浩	伊那北高等学校 校長
19		大石 英一	伊那北高等学校 教諭
20		平澤 裕二	伊那弥生ヶ丘高等学校 校長
21		唐澤 功	伊那弥生ヶ丘高等学校 教諭
22		藤澤 康一郎	上伊那小学校長会 会長
23		尾形 浩	上伊那中学校長会 会長
24	生徒	松尾 穂野香	伊那北高等学校 生徒会長
25		伊東 琴音	伊那北高等学校 生徒会副会長
26		瀧本 杏	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒会長
27		三ツ井 葉留	伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒会副会長

事務局

伊那北高等学校		伊那弥生ヶ丘高等学校		高校再編推進室	
山岡 久俊	(教頭)・事務局長	藤澤 幹彦	(教頭)・副事務局長	上原 浩子	主幹指導主事
大石 英一		唐澤 功		久保村 智	主任指導主事 (伊那新校担当)
倉石 典広		濱田 敦子			
山崎 和也		春日 雅博			
齋藤 仁美		原 拓也			

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」（以下、「懇話会」という。）を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づいて、設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関する事
- (2) 校地・施設・設備等に関する事
- (3) 管理運営等に関する事
- (4) 教育内容等に関する事
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者（校長、教職員等）、地域の代表（自治体関係者、産業界の代表等）、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

第1回 伊那新校 再編実施計画懇話会

2020年（令和2年）11月26日
伊那合同庁舎 講堂
長野県教育委員会

1

◆第1回 伊那新校再編実施計画懇話会

▶ご参集の皆様へのお願い

- ①マスク着用
- ②手指消毒
- ③体温測定
- ④ソーシャルディスタンスの確保
- ⑤会議時間 1時間30分(90分間)



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助



外出控え



密集回避



密接回避



密閉回避



換気



咳エチケット



手洗い

2

第1回 伊那新校再編実施計画懇話会

◆本日の次第（18:00～19:30）

- 1 開 会
- 2 挨 拶
- 3 自己紹介
- 4 伊那新校再編実施計画懇話会について
- 5 座長選出
- 6 会議事項
- 7 その他
- 8 閉 会



学び応援キャラクター「信州なび助」
©長野県教育委員会信州なび助

2020年（令和2年）11月26日
伊那合同庁舎 講堂

3

◆第1回 伊那新校再編実施計画懇話会

1 開 会

2 挨 拶

3 自己紹介



4

◆第1回 伊那新校再編実施計画懇話会

4 伊那新校再編実施計画懇話会について

- (1) 「懇話会」開催の趣旨について
- (2) 今後のスケジュール及び専門会議について



5

「伊那新校再編実施計画懇話会」の趣旨

(目的)

「再編実施計画」を策定するにあたり、対象校が所在する地域の意見を聞くため、「新校再編実施計画懇話会」を開催

(会議事項)

- ①学校像、教育方針 ②校地・施設・設備
- ③教育内容、管理運営に関すること

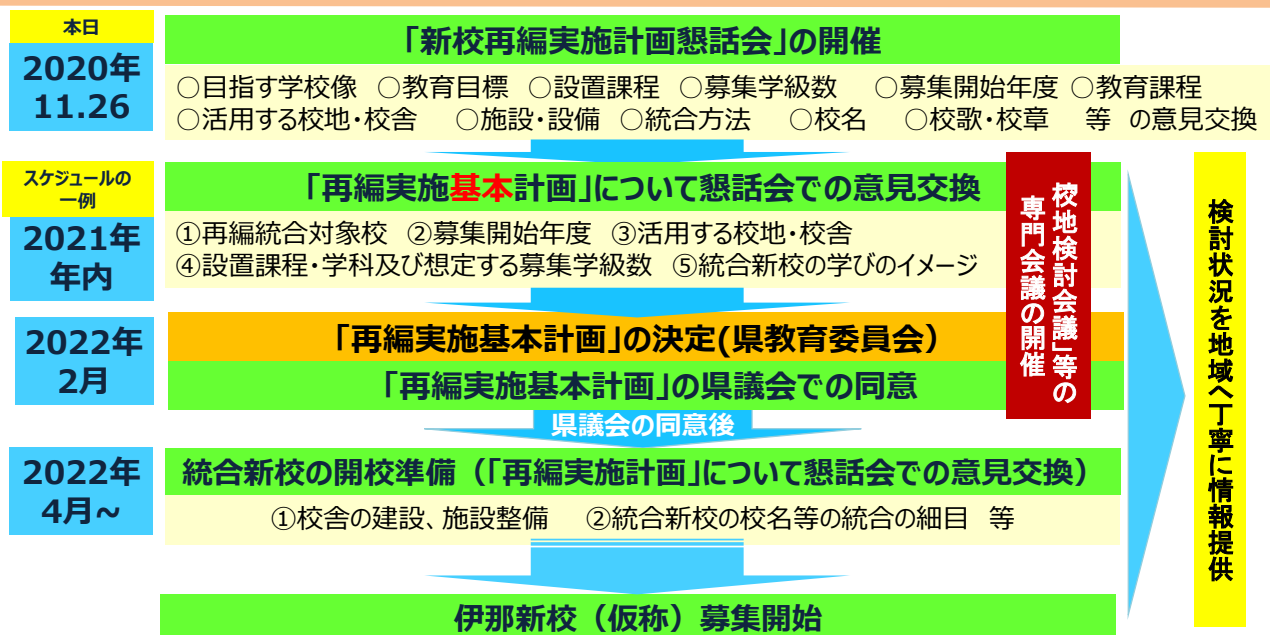
(構成員)

- ①学校関係者 ②地域関係者（自治体・産業界等）
- ③生徒、同窓会、PTAの代表等 ④学識経験者

(開催期間)

○新校が開校するまで開催

統合新校開校に向けた今後のスケジュール



◆ 第 1 回 伊那新校再編実施計画懇話会

5 座長選出



◆第1回 伊那新校再編実施計画懇話会

6 会議事項

(1) 「高校改革 ～夢に挑戦する学び～」

- ① 「実施方針」について
- ② 「再編・整備計画【一次】」及び伊那新校の学校像について

(2) 質疑応答及び意見交換



9

高校改革 ～夢に挑戦する学び～



高校改革 ～夢に挑戦する学び～



デザイン制作＝高校生
×
同学園トータルデザインアカデミー

10

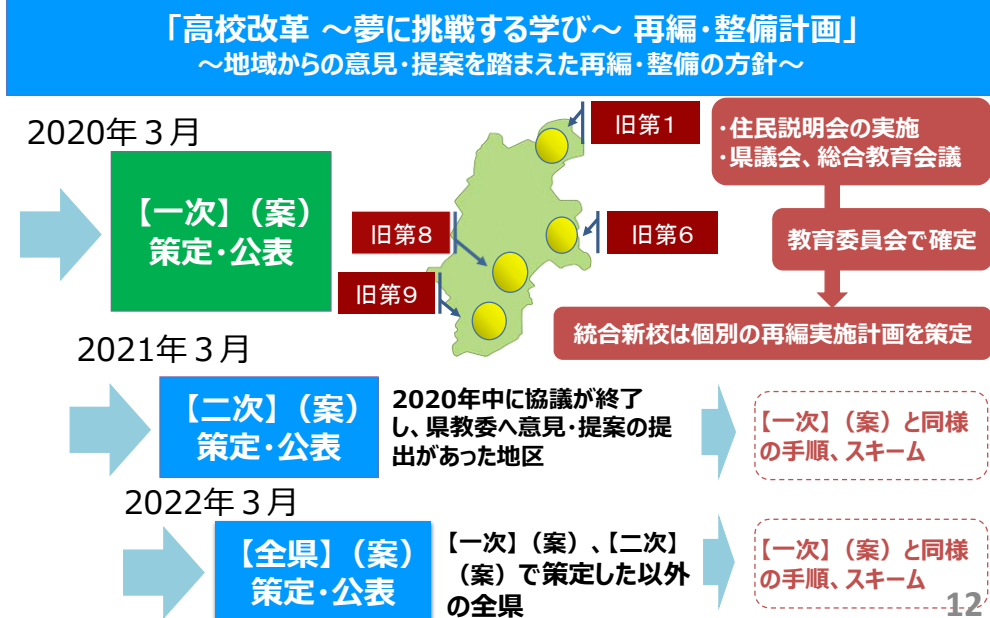
これまでの経緯



11

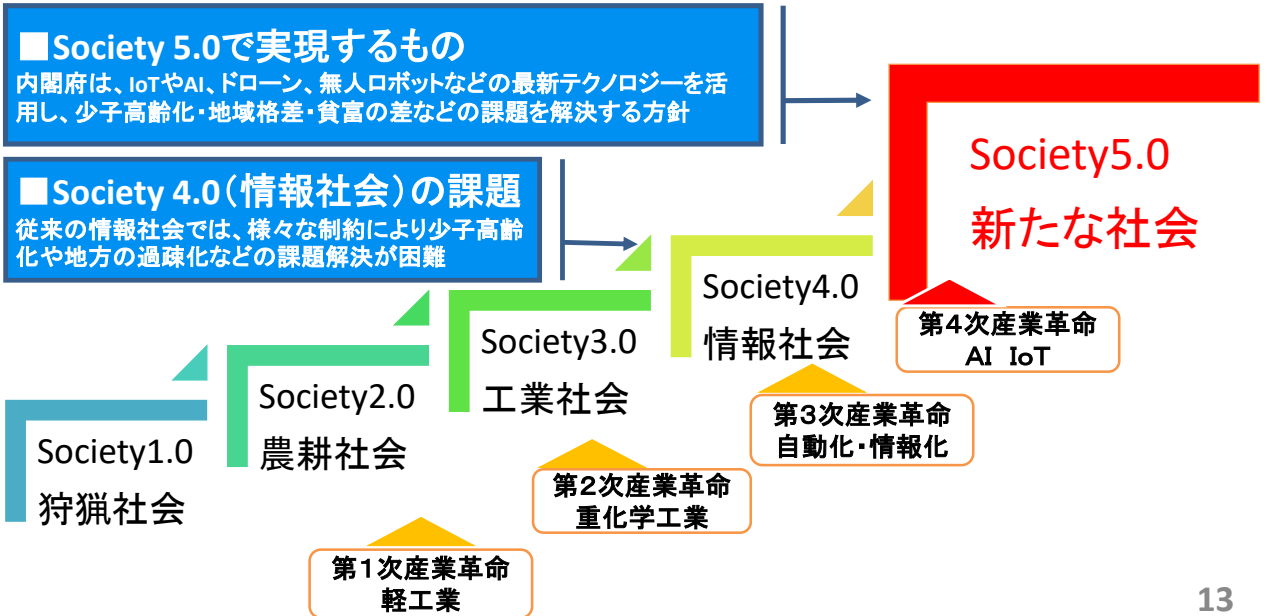
「再編・整備計画」全体のスケジュール

2018年 9月
2019年 9月



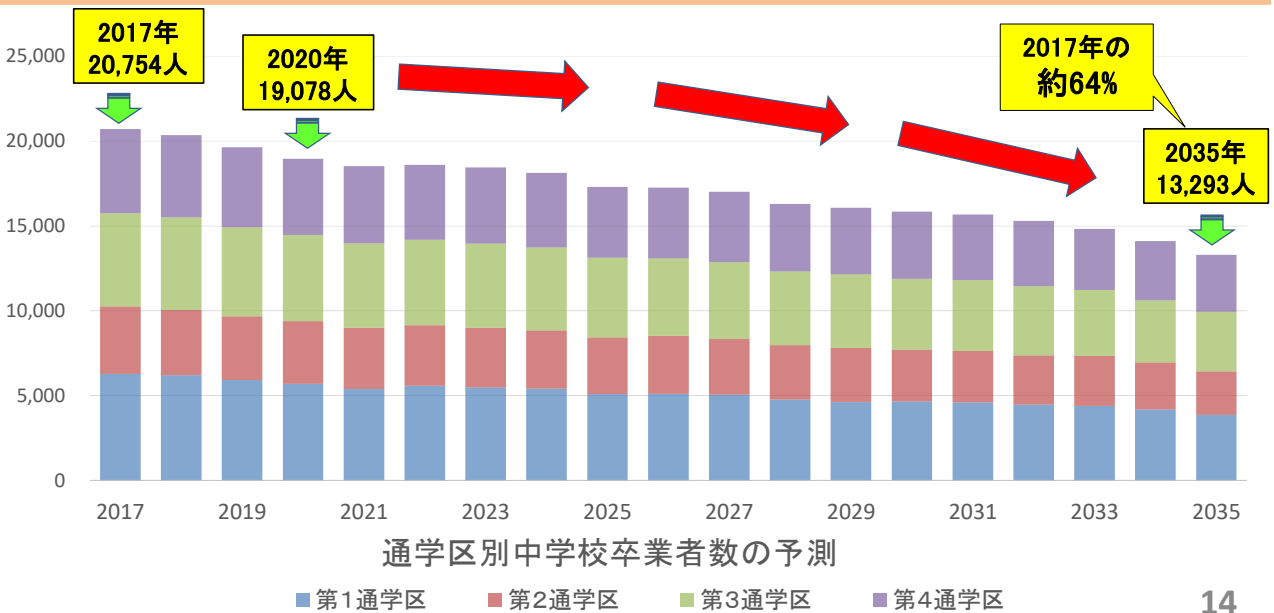
12

今なぜ高校改革か ～激変する社会への対応～



13

今なぜ高校改革か ～進行する少子化への対応～



14

高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針

1 次世代を担う子どもたちのための「学びの改革」

激変する社会への対応

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

進行する少子化への対応

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

2 すべての県立高校で押し進める高校改革

「新たな社会を創造する力」を育むことが可能な高校づくり

3 将来にわたって高校教育の学びの質を保障

15

高校改革 ～夢に挑戦する学び～ 実施方針

すべての生徒が自らの夢を見つけ、夢に挑戦する学びの実現

新たな学びの推進
(学びの質を充実)

方針1 すべての高校が
新たな学びへ転換

方針2 多様な学びの場、学び
の仕組みを整備充実

方針3 新たな学びに
ふさわしい環境を整備

新たな高校づくり
(学びの基盤を整備)

方針4 さらなる少子化の進行
に的確に対応

方針5 多様な学びの場を
全県に適切に配置

方針6 「再編・整備計画」を
確定し計画的に整備

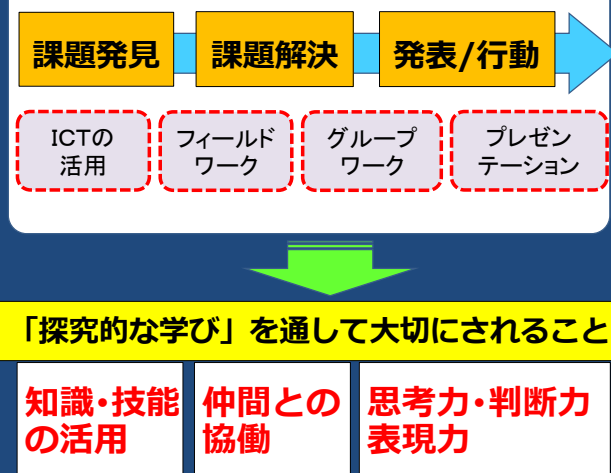
「実施方針」 新たな学びの推進

方針1 すべての高校が新たな学びへ転換

- 「探究的な学び」の推進
「主体的・対話的で深い学び」
- 学校ごとに
 - 3つの方針の策定と運用
 - ・生徒育成方針
 - ・教育課程編成実施方針
 - ・生徒募集方針
 - グランドデザインの策定
- 高校入試制度改革 など

「探究的な学び」とは学習のプロセス

「主体的・対話的で深い学び」を実現する手法の一つ



「実施方針」 新たな学びの推進

■これまでの授業

講義型の授業



知識・技能を間違えずに習得、必要に応じて活用

■これからの「学び」の一例

主体的・対話的で深い学び



知識・技能を活用し、正解のない課題に向き合い、チームとして協働しながら解決していく

伊那北高校、伊那弥生ヶ丘高校のグランドデザイン

伊那北高校



伊那弥生ヶ丘高校



「実施方針」 新たな学びの推進

方針2 多様な学びの場の 仕組みを整備充実

- 多様化するニーズや専門教育に応える高校の充実拡大
- 多部制単位制等の充実拡大
- 通信制の改革
- 未来の学校(実践校)実践研究
- ICT(EdTech)積極的活用
- 高校間連携・高大連携推進 など

方針3 新たな学びに ふさわしい環境整備

- 学習環境・生活環境の整備 (空調設備、洋式トイレなど) ⇒さらに
- 「学習空間デザイン検討委員会」
- ICT環境の整備充実 (電子黒板、タブレット等の導入推進)など

「実施方針」再編・整備計画(新たな高校づくり)

方針4 ○さらなる少子化の進行に的確に対応
 ・都市部における小規模校分立の状況を回避し教育効果の最大化を目指す
 ・学びの場の保障が必要な中山間地での魅力ある学びの場の創造を目指す

方針5 ○多様な学びの場を全県に適切に配置
 ・再編を個々の学校の問題として捉えるのではなく、地域全体及び県全体の高校の将来像を総合的に検討

方針6 ○「再編・整備計画」を確定し計画的に整備
 ・地域での検討を踏まえて「再編・整備計画」を確定し、再編を実施しない既存校も含めて計画的に整備

県立学校学習空間デザイン検討委員会 最終報告

当たり前と考えてきた「教室」と「校舎」のつくり ⇒ 改革します！

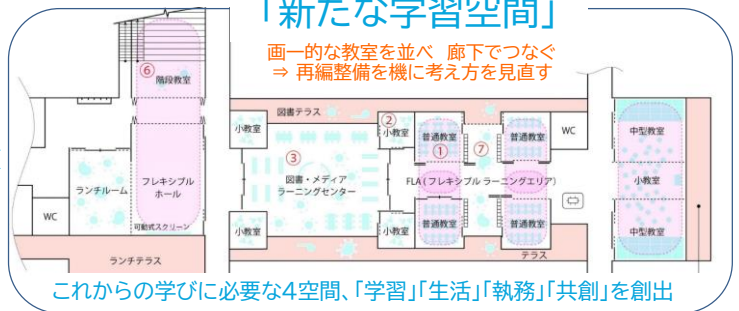
「新たな学び」



「自律的な学び」+「協働的な学び」
(教え合い・学び合い)

「新たな学習空間」

画一的な教室を並べ 廊下でつなぐ
 ⇒ 再編整備を機に考え方を見直す



「一体系的な高校改革」を推進



上伊那地域(旧第8通学区) 再編・整備計画【一次】



旧第1通学区

旧第8通学区

旧第6通学区

旧第9通学区



デザイン制作＝高校生
×
国学院大学デザインアカデミー

23

上伊那地域(旧第8通学区) 再編・整備計画

生徒募集定員の状況

辰野
普通科(2)
商業科(1)

箕輪進修
多部制・単位制
I部・II部 普通科(2)
I部 工業科(1)
III部 普通科(1)

上伊那農業
農業科(4)



伊那北
普通科(5)
理数科(1)

伊那弥生ヶ丘
普通科(5)

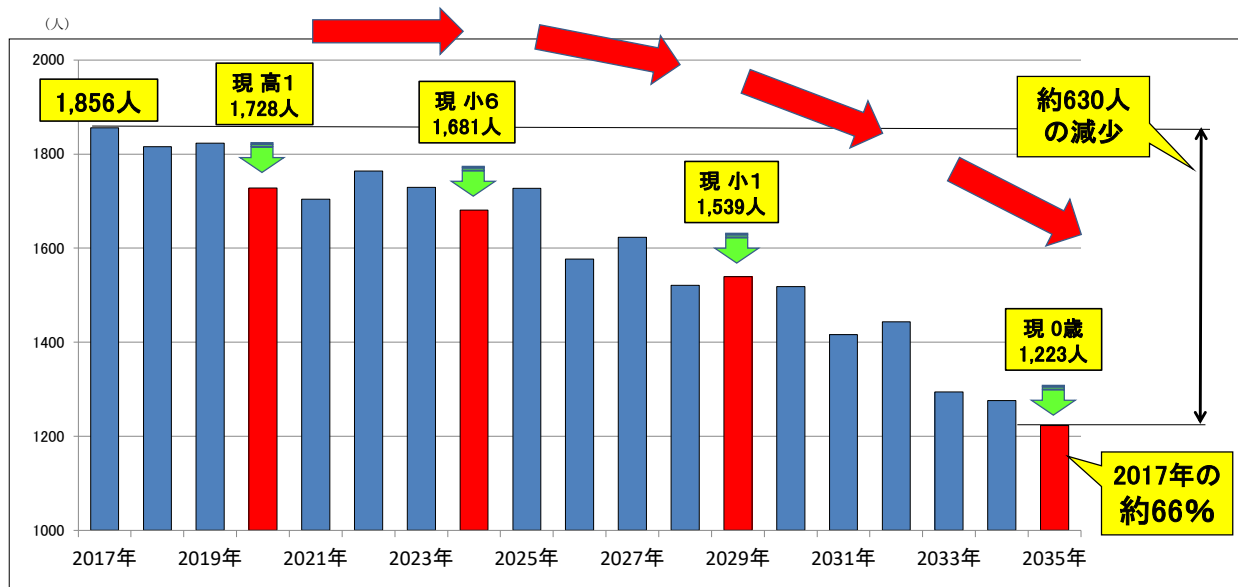
高遠
普通科(3)

赤穂
普通科(3)
商業科(2)
定時制 普通科(1)

駒ヶ根工業
工業科(3)

24

上伊那地域(旧第8通学区) 少子化の状況



上伊那地域の高校の将来像を考える地域の協議会

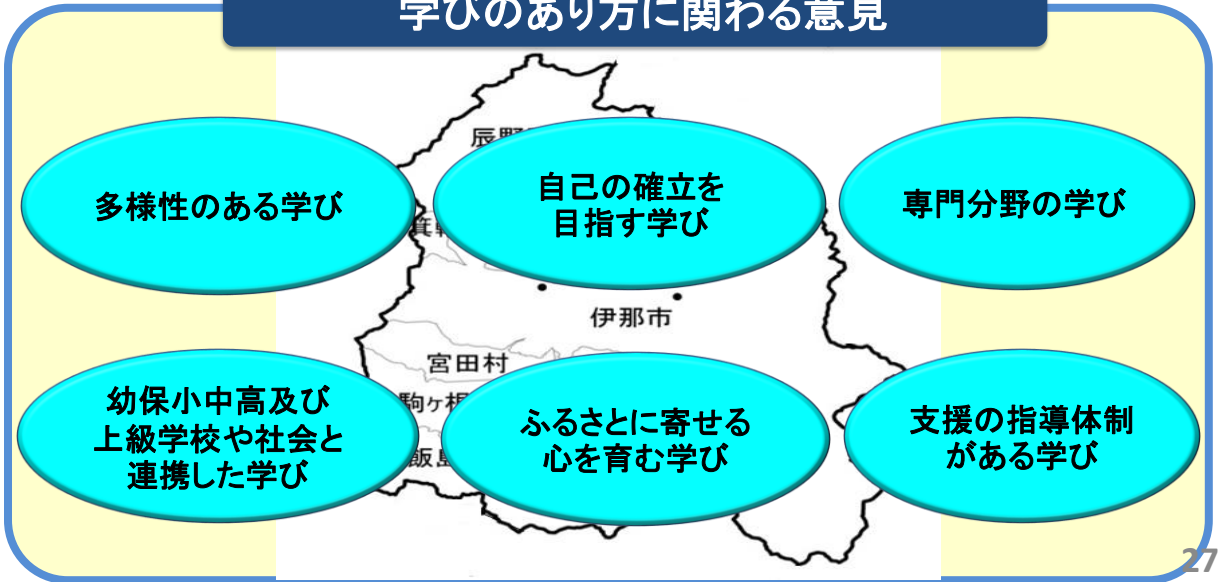
地域の「協議会」の概要

- | | |
|--------|---------------------|
| ① 名称 | 上伊那地域の高校の将来像を考える協議会 |
| ② 会長 | 杉本幸治 前駒ヶ根市長 |
| ③ 委員 | 18名 |
| ④ 活動期間 | 2018年(平成30年)6月～ |
| ⑤ 意見提出 | 2019年(令和元年)9月18日 |



「上伊那地域の高校の将来像を考える協議会」意見・提案①

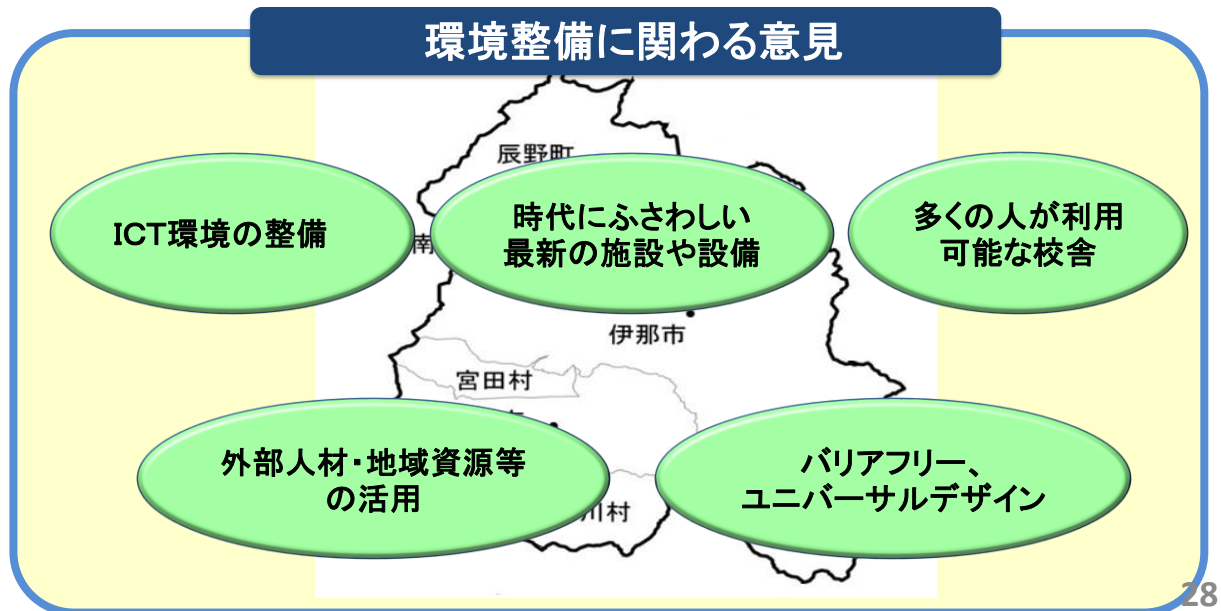
学びのあり方に関わる意見



27

「上伊那地域の高校の将来像を考える協議会」意見・提案②

環境整備に関わる意見



28

「上伊那地域の高校の将来像を考える協議会」意見・提案③

高校配置に関わる意見

都市部存立普通校

- 一定規模を維持した普通科教育の拠点
- 最先端の学問研究や卓越した探究的な学び

総合学科高校

- 多様な生徒のニーズに応える幅広い学び
- キャリア教育を通じた進路選択につながる学び

総合技術高校

- 農業、工業、商業等の地域の重要産業の担い手育成
- 専門性の維持と専門分野の枠を越えた学び

中山間地存立校

- 地域と密着した地域の学びの拠点
- 学科の枠にとらわれない地域人材育成につながる学び

多部制・単位制高校 定時制高校

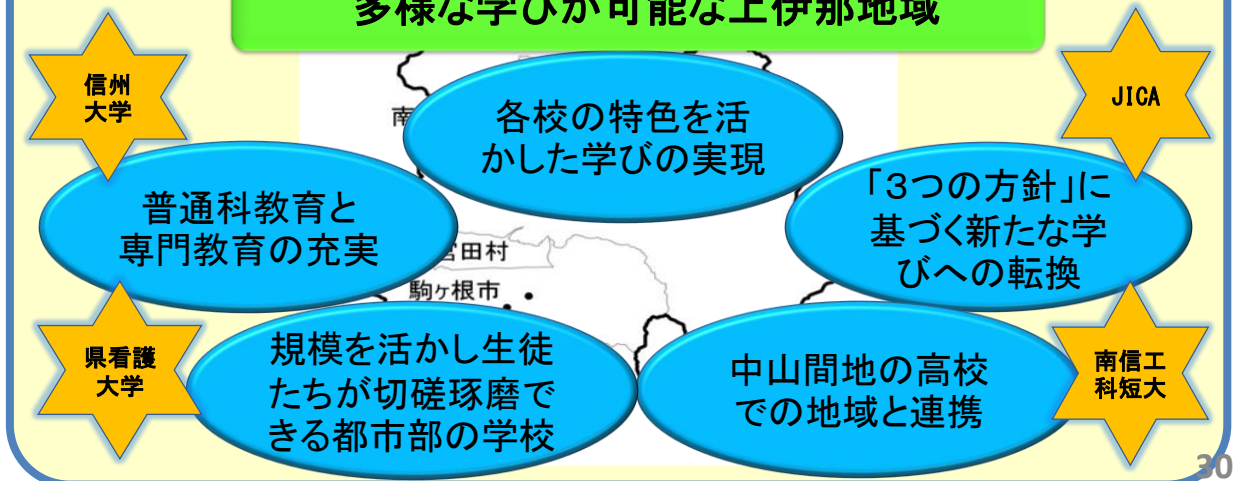
- 多様な学びや学び直しの機会につながる学びの場
- 現状の配置を維持しつついつでも学べる仕組み

29

上伊那地域(旧第8通学区) 再編・整備方針

今後の学びのあり方

多様な学びが可能な上伊那地域



30

上伊那地域(旧第8通学区) 再編・整備方針

これから実施する計画

伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校を再編統合する。➡ **伊那新校(仮称)**

上伊那地域に総合学科高校を設置する。➡ **上伊那総合学科高校(仮称)**

上伊那地域に総合技術高校を設置する。➡ **上伊那総合技術高校(仮称)**

※2021年(令和3年)の「再編・整備計画【二次】(案)」で公表予定

○上伊那総合学科高校(仮称)及び上伊那総合技術高校(仮称)の再編対象校

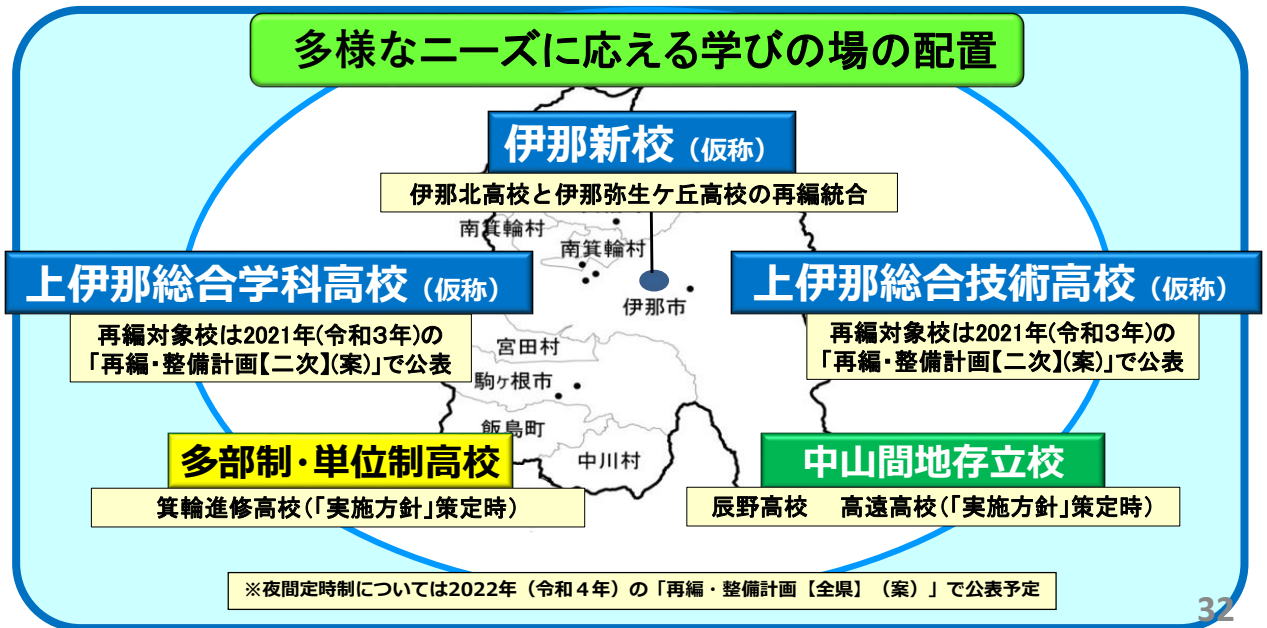
※2022年(令和4年)の「再編・整備計画【全県】(案)」で公表予定

○定時制課程の配置

31

上伊那地域(旧第8通学区) 高校配置例

多様なニーズに応える学びの場の配置



32

伊那新校(仮称)学校像例

○規模の大きな普通科教育の拠点

地域との連携・協働

持続可能な社会の実現

○卓越した探究的な学び

大学や研究機関との連携

最新の医療分野・学術分野

○SDGs等に基づいた社会課題を探究する学び
○個別最適な学び及び高大連携の推進



地域や世界で主体的に活躍できる資質・能力の育成



伊那新校(仮称)

～上伊那地域の持続可能で先進的な普通科教育の拠点校～
SDGsの学びを通じて地域や世界の明日を目指す未来学校



○卓越性の伸長 <Excellence>

～羽ばたけ！ 無限の可能性～
最新の学術分野の学び、地域の教育機関との連携
(信州大学農学部、長野県看護大、南信工科短大、JACA等)



○多様性の理解 <Diversity>

～多様な価値観の中で切磋琢磨できる教育環境～
地域や世界の様々な社会課題を探究する学び
(PBL型の社会課題解決型学習等)



○郷土愛の醸成 <Hometown>

～「伊那谷学」で地域の魅力を世界へ発信～
地元企業等との連携による地域や産業の学び
(キャリア教育、「郷土愛プロジェクト」)

<SDGs 未来地域上伊那>

- OSTEAM型の学びによりSDGsを牽引
- EdTech、ICT活用の個別最適化の学び
- 「50センチ革命」等のリアルな学び

<上伊那地域連携コンソーシアム>

～探究的な学びを深める新たな連携の仕組み～



<バリアフリー、ユニバーサルデザイン>

- 可変的学習空間
- 地域連携協働空間



World Wide 上伊那 (上伊那の未来へ、上伊那から世界へ)

～地域や世界で主体的に活躍できる卓越した資質・能力の育成～

◆第1回 伊那新校再編実施計画懇話会

7 その他

◆次回の予定

【日時】令和3年1月19日（火）18:00～19:30

【会場】伊那北高等学校 同窓会館

【内容】アドバイザーによる講演会及び意見交換

【アドバイザー】上智大学 奈須正裕 教授

8 閉会



『たぐえてゆかむ』 ～長野県伊那北高等学校（全日制）の3つの方針

100年の歴史を礎に、二世紀目に向かう新たな学校づくりを目指します。

生徒育成方針（育てたい生徒像）

- ・広い視野と柔軟な発想力を持ち、社会を広義にイノベーション（刷新）できる生徒。
- ・たくましい精神力と豊かな人間性、本物の知性を備えた社会をリードする生徒。
- ・探究心を持ち自ら考え自ら行動するとともに他者と協働する力を持つ生徒。
- ・社会の中で自己有用感を持ち、世界、地域での役割を自覚できる生徒。
- ・地域で必要とされる人材、世界で必要とされる人材を目標とする生徒。

教育課程編成・実施方針

- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、P D C Aサイクルを活用した授業改善を進め、高いレベルでの進路実現の達成を目指す。
- ・I C Tの効果的な活用を進めるとともに、ディスカッションやグループワーク等を取り入れ、主体性、協働性などの学ぶ姿勢を涵養する。
- ・探究活動において、学問を実感しながら感性を磨き「豊かな人間性」を育むとともに、課題発見から解決に向けた学習活動を通して探究心を高める。
- ・医学・医療系、高度な理工系、人文社会系、芸術系、教員養成系など各系統のキャリアを産官学、高大中などの連携により学ぶ。
- ・部活動、生徒会活動等の自主的な活動を奨励し、自ら行動する力や規範意識、高い倫理観を育成する。
- ・地域と連携した学びを通して地域への理解を深めるとともに、グローバルな視点で社会に貢献していく力を育てる。

生徒募集方針

伊那北高校での3年間の生活を充実させたいと考えている次のような生徒諸君を待っています。

- ・自己実現、進路実現のために大学進学を考えている生徒。
- ・様々なことに興味、関心を抱き、追求しようとする姿勢のある生徒。
- ・他者と協働しながら主体的に物事に組みたいと考えている生徒。
- ・将来、地域のリーダーを目指したい、日本・世界で活躍したいと考えている生徒。
- ・学習以外にも熱心に組みたいものがある生徒。
- ・自然科学に高い関心があり、大学の理学部、工学部、医学部、薬学部、農学部などで学び、この方面で活躍したいと考えている生徒（理数科）。



「たぐえてゆかむ」長野県伊那北高等学校のグランドデザイン

学校教育目標

- ① 平和を希求し、真理と正義を探究する資質を養う。
- ② 躍如として学業にいそむ。
- ③ 自主・自立の精神を養い、個性の伸長をはかる。
- ④ 自由と責任を重んじ、努力を惜しまない態度を養う。

充実した
学習活動

教育課程編成
・実施方針



育てたい生徒像

生徒育成方針

- ★ 広い視野と柔軟な発想力を持ち、社会を広義にイノベーション(刷新)できる生徒。
- ★ たくましい精神力と豊かな人間性、本物の知性を備えた社会をリードする生徒。
- ★ 探究心を持ち、自ら考え自ら行動するとともに、他者と協働する力を持つ生徒。
- ★ 社会の中で自己有用感を持ち、世界、地域での役割を自覚できる生徒。
- ★ 地域で必要とされる人材、世界で必要とされる人材を目標とする生徒。

進路実現のためのカリキュラム

- ★ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた、PDC Aサイクルを活用した授業改善。
- ★ ICTの効果的な活用と主体性、協働性などの学ぶ姿勢の涵養。
- ★ 探究心を高めるために、感性を磨き「豊かな人間性」を育む課題発見から解決に向けた学習活動。
- ★ 医学・医療、理工、人文社会、芸術、教員養成など様々な分野に関する産官学、高大中と連携した学び。
- ★ 地域への理解を深め、グローバルな視点で社会に貢献していく力を育てる地域と連携した学び。

生徒募集方針

伊那北高校での3年間を充実させたいと考えている次のような生徒諸君を待っています。

- 自己実現、進路実現のために大学進学を考えている生徒
- 様々なことに興味、関心を抱き、追求しようとする姿勢のある生徒
- 将来、地域のリーダーを目指したい、日本・世界で活躍したいと考えている生徒
- 他者と協働しながら主体的に物事に取り組みたいと考えている生徒
- 学習以外にも熱心に取り組みたいものがある生徒
- 自然科学に高い関心があり、大学の理学部、工学部、医学部、薬学部、農学部などで学び、この方面で活躍したいと考えている生徒(理数科)

長野県伊那弥生ヶ丘高等学校(全日制課程)の3つの方針

教育目標

本校の伝統的な校風である「自主自律」「文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手として、全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力をそなえた人間を育てる。

「生徒育成方針」(育てたい資質・能力)

知 徳 兼 ね つ つ	(1) 社会性の育成	人権尊重の上に豊かな人間関係を築く力の育成
	(2) 学力の向上	学力向上への強い意志と態度の育成
	(3) 判断力の向上	広く深い見地から判断する力の向上
た く ま し く	(4) 自律性の確立	主体的、かつ責任のある行動をとる力の育成
	(5) 実行力の育成	互いに協力し、困難に立ち向かう力の育成
	(6) 創造力の育成	予測できない未来に向かって社会の創造と発展に貢献する力の育成

「教育課程編成・実施方針」(本校の学びの特色)

- (1) 2年次、3年次において、文系・理系に分かれた類型制を取り入れて、個々の将来設計に応じた自主的・自律的な学びを支援する。
- (2) 全教科で協働学習、課題解決型、参加型の活動を取り入れることによって思考力、判断力、表現力を育成する。
- (3) ICTを活用した多様な学習法の実践により、授業、家庭学習における生徒一人ひとりの学力に合わせた学習を推進する。
- (4) LHR、総合的な探究の時間を組み合わせ、年間を通して地域の諸団体と連携しながら系統的な探究活動を進める。
- (5) 社会と自分の生き方を関連付けて考え、主体的に自分の進路を切り開くため、大学、企業等と連携した体系的なキャリア教育を実施する。

「生徒募集方針」(期待する入学者像)

- (1) 本校の学習内容、教育活動に関心を持ち、進路実現に向けて積極的に取り組む生徒
- (2) 学習、クラブ活動、生徒会活動など、何事にも興味を持ち、全力で努力できる生徒
- (3) 日本・世界への見聞を広め、地域社会やグローバル社会に貢献しようと思っている生徒

長野県伊那弥生ヶ丘高等学校グランドデザイン 2020

～自主の道、未来を開く～

教育目標

「自主自律」「文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手として、全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力を備えた人間を育てる

育てたい資質・能力～こんな生徒に育てほしい!!～

知徳 兼ねつつ たくましく

社会性

人権尊重の上に豊かな人間関係を築く力

学力

学力向上への強い意志と態度

判断力

広く深い見地から判断する力

自律性

主体的、かつ責任ある行動をとる力

実行力

互いに協力し、困難に立ち向かう力

創造力

未来に向けて社会の創造と発展に貢献する力

本校の学び～このような教育を行います～

類型制による選択科目

2・3年次に文理に分かれた類型制により、進路に応じた自主的・自律的な学びを支援します。



アクティブな授業

全教科で協働学習、課題解決型授業を取り入れ、思考力・判断力・表現力を育成します。

未来を開くキャリア教育

3年間を通じた体系的なキャリア教育により、社会と自分の生き方を関連付けて考えます。

ICTを活用した学習

多様な学習法の実践で、授業・家庭学習における一人一人の学力に合わせた学習を推進します。



充実した探究学習

年間を通して地域の団体と連携しながら課題を見つけ、解決に向けた学びを行います。

このような生徒を待っています

- ① 本校の学習内容、教育活動に関心を持ち、進路実現に向けて積極的に取り組む生徒
- ② 学習、クラブ活動、学校行事など、何事にも興味を持ち、全力で努力できる生徒
- ③ 日本・世界への見聞を広め、地域社会やグローバル社会に貢献しようと思っている生徒